

□議員名：藤岡修美

1 農業振興について

論点	山陽小野田市農業振興地域整備計画について今までの取り組み状況とその結果について聞く。
回答	農業振興地域整備計画で、農地利用計画、農業生産基盤の整備開発計画及び農業を担うべき者の育成、確保、施設計画等について定めており、平成24、25年度には、堂前ため池の整備、平成17年度から黒崎地区、平成18年度から松屋埴生地区において護岸整備を実施している。

論点	農業振興地域整備計画の見直しを図ることになっているが、市としてどのような方針で取り組むのかを聞く。
回答	6月より農家に対するアンケート調査を実施しており、7月からは基礎調査を実施する予定。アンケート及び基礎調査の結果をもとに都市計画マスタープランとの整合性を図りながら、優良な農地を保全しつつ、総合的かつ計画的に農業振興を推進していく計画となるよう取り組む。

論点	農地等の利用の最適化の推進について、これまでどのように取り組んできたのか、また、今後どのように取り組んでいくのかを聞く。
回答	農業委員会では、市域を14区域に分け、各区域に一人ずつ農地利用最適化推進委員を委嘱し、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止解消、新規参入の促進の活動を行っている。 今後は、農地パトロールなどの現場の活動を積極的に行い、農業者とのコミュニケーションを図りつつ、農地等の利用の最適化の取り組みをより一層推進する。

論点	アンケートに、農用地区域からの除外の希望に沿えないことがあるが、理由は。
回答	法律により、集団的農地や土地改良事業等の施行地等の優良な農地については、農用地区域として設定し、良好な状態で維持保全することが定められており、優良な農地については、所有者が除外を希望しても、農用地区域として設定をする。

論点	他市では市長の思いで農業の活性化に取り組んだ例もあるが、藤田市長はこれからの本市の農業についてどのように考えているか。
回答	直接的な生産者や、JAなど農業関係者と十分な協議しながら、これからの農業振興、農業経営の環境整備ということを推進していく。

2 観光振興について

論点	第一次山陽小野田市観光振興ビジョンの取り組みについて聞く。
回答	「訪れるひと 住むひと 心響きあうまち山陽小野田」の基本理念のもとに観光資源の魅力向上と利活用、情報発信・PRの充実、推進体制の充実とホスピタリティ向上及び広域連携の推進の4つの基本戦略を掲げ、市民や関係団体等との連携・協力を図りながら観光のまちづくりを推進した結果、観光客数は目標値110万人に対して、平成26年約96万8千人から平成29年106万1千人と増加した。

論点	第一次山陽小野田市観光振興ビジョンの検証はどうか。
回答	観光振興ビジョンに掲げた施策の実現に向けて策定した観光振興アクションプランには、69の具体的な取り組みを示しており、このうち、昨年度末時点で58の取り組み、約84%が着手済み。

論点	観光プロモーション調査業務の目的と内容について聞く。
回答	業務の目的は、現状と課題の整理、訴求力のある地域資源の抽出等を行い、観光のまちづくりに向けた戦略と推進体制の構築を図るための基礎資料を作成すること。内容は、調査と提案とで構成しており、業務の成果につきましては、今年度策定する観光振興プランの中に繁栄をさせる。

論点	第二次山陽小野田市観光振興ビジョンの策定について聞く。
回答	現行ビジョンに基づき取り組んできた各施策の成果や課題を十分に検証した上で、観光ニーズの変化や多様化への対応、そして、第二次山陽小野田市総合計画との整合を図りながら今年度中に新しい観光振興プランを策定する。

論点	観光客の受け入れは、市民の生活の場に外部の人間が入ってくることであるので、市民との対話を行い、事前に納得性を高める必要があるが、第二次観光振興ビジョンの策定に向けて、どのような考えで臨むのか。
回答	検討委員会の設置を考えているが、観光関連の専門家だけでなく、委員を市民から公募し、自由活発な議論を深めて、観光振興ビジョンを市民の力でつくっていききたい。

論点	<p>アメリカ西海岸をサンフランシスコからロサンゼルスまでバスで移動したことがあるが、太平洋の青い広がり、ペブルビーチゴルフリンクスのそばを通るドライブウェイ、「17マイルドライブ」は素晴らしい観光地である。</p> <p>本市の都市計画マスタープランによると、山陽小野田市の海岸線をつなぐ水辺のネットワーク構想がある。埴生地区の花の海、糸根公園、埴生漁港でのイベントや朝市、津布田海岸での釣りや潮干狩り、ゴールデン・ゲート・ブリッジにはかなわないが、遠くは関門橋も見える。また、この地区には、リゾート地区の別荘をイメージさせる建物やテニスコートつきの建物も存在する。そして、グルメロードとしての貝汁のレストラン、和懐石のおいしい旅館、梶地区のゴルフ場、カブトガニの生息地、地球の歴史が感じられる縄地公園、プロサッカー選手が練習するサッカー交流公園、竜王山、焼野海岸、スペインレストランやきらら交流館、ガラス未来館、くぐり岩の本山岬公園、そして、UCLAには負けるが山口東京理科大学。本市の海岸線の延長は43.7キロで約27マイルである。アメリカ西海岸の「17マイルドライブ」より10マイル長い「27マイルドライブ」で観光客の誘致を図るという構想を提案する。</p>
----	---